

スマートプラチナ社会構築事業

施策概要

○ 超高齢社会に突入した我が国は、生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な課題に直面。これらの課題を解決し、全ての国民が可能な限り長く健康を維持し、自立して暮らすことができ、病気になっても質の高い医療・介護サービスを受容し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができることに加え、経済成長をも成し遂げることができる「スマートプラチナ社会※」を実現する。

※「シルバー」を越えて、全ての世代がイノベーションの恩恵を受け、いきいきと活動できる超高齢社会

【具体的取組】

- ① 在宅医療に係る情報連携基盤の全国展開：在宅医療・介護の情報連携のため、多職種間で情報を安全かつ効率的に共有するためのシステムの確立に向けた実証
- ② ICT健康モデル(予防)の確立：生活習慣病等の発症・重症化予防のため、ヘルスケアポイントを用いた実証
- ③ 新たなワークスタイル(テレワーク)の実現：多様で柔軟な働き方の確立・普及に向けた実証等
- ④ ICTリテラシーの向上：高齢者がICTを使ってコミュニティで活動できる社会環境を実現するための実証

所要額

15.5億円

- 民間企業等への実証委託を実施

